



避難に「備える」

避難指示が出てから避難準備をしても、間に合わず
に最悪の事態も考えられます。
事前に避難ルートや非常用の持ち出しバックを準備
し、いざという時に慌てず対応できるようにしよう。

避難時は何を持っていく？

安全な場所に避難しても、
当面そこで生活しなくては
いけない場合もあります。
十分な量をリュックなどに
入れ、普段から準備してお
きましょう。

○食料品

インスタント食品や缶詰
など日持ちするもの、飲
料水

○医薬品

傷薬や風邪薬のほか、持
病のある人はその薬

○日用品

ちり紙、タオル、生理用
品のほか、子どもさんが
いる場合はおむつなど

○衣類

毛布、上着、下着、軍手
など

○貴重品

現金、健康保険証

○その他

懐中電灯、ラジオなど

非常時持出し品チェックリスト（例）

- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> 非常食 | <input type="checkbox"/> 小銭 | <input type="checkbox"/> 健康保険証 |
| <input type="checkbox"/> 緊急医療品 | <input type="checkbox"/> 常備薬 | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> 軍手 |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ | <input type="checkbox"/> 携帯電話 | <input type="checkbox"/> 充電器類 | <input type="checkbox"/> 防災ずきん |
| <input type="checkbox"/> ティッシュ・タオル | | <input type="checkbox"/> 毛布 | <input type="checkbox"/> マスク |
| <input type="checkbox"/> ビニール袋 | <input type="checkbox"/> ライター | <input type="checkbox"/> 衣類（上着・下着） | |

土砂災害に「備える」

6月1日から6月30日までは土砂災害防止月間です。
これから集中豪雨などが多くなる時期となり、土砂
災害が発生する恐れが増えます。土砂災害は一瞬にし
て、生命や財産を奪うなど、甚大な被害をもたらします。
土砂災害について知り、日ごろから備えをしましょう。

土砂災害とは

土砂災害は次の3つに分
類されます。

①土石流

山腹や川底の石や土砂が
長雨や集中豪雨などによっ
て一気に下流へと押し流さ
れるもの



②がけ崩れ

地中に染み込んだ水分が
土の抵抗力を弱め、雨や地
震などの影響によって急激
に斜面が崩れ落ちること



③地すべり

斜面の一部、あるいは全
部が地下水の影響と重力に
よって、ゆっくりと斜面下
方に移動する現象



土砂災害の情報

- ◆熊本県統合型防災情報システム
<http://www.bousai.pref.kumamoto.jp/>
- ◆熊本県が観測している最新の情報を閲覧できます
- ◆気象庁ホームページ
<http://www.jma.go.jp/>

土砂災害から身を守る
ポイント

**雨が降りだしたら土砂災
害警戒情報に注意する**

土砂災害警戒情報は、降
雨による土砂災害の危険が
高まったときに、発表され
る防災情報です。

土砂災害警戒情報はテレ
ビやラジオの気象情報、気
象庁・熊本県のホームページ
などで確認することができます。

**土砂災害警戒情報が発表
されたら早めに避難する**

土砂災害警戒情報が発表
されたら、早めに近くの避
難場所などの安全な場所に
避難しましょう。

町の防災行政無線や広報
車による呼びかけに注意し、
早めに避難することが大切
です。

番外版

弾道ミサイルに「備える」

朝鮮民主主義人民共和国（以降「北朝鮮」）の弾道ミサイル問題で国内に緊張が走っています。「災害」ではありませんが、いざという時にどうしたらよいか、事前に知っておきましょう。

弾道ミサイルが飛んでくるところを知るには

弾道ミサイルが発射され、日本に落下する可能性がある場合、国がJアラート（全国瞬時警報システム）を使用し防災行政無線でサイレントとともにメッセージを流します。また緊急メールなどで緊急情報を流します。

メッセージが流れた後はどうすればいいの？

直ちに次の行動をとってください。

【屋内にいる場合】

○近くのできるだけ頑丈な建物や地下街などに避難する。

○適当な建物などが無い場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る。

【屋内にいる場合】

○可能な限り窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。

弾道ミサイルの対応を知ろう

◆国民保護ポータルサイト

<http://www.kokuminhogo.go.jp/>

国が作成した、弾道ミサイルが落下する可能性がある場合にとるべき行動について、とりまとめたものが掲載されています。



弾道ミサイルに関するQ & A

Q1 ミサイルは発射から何分位で日本に飛んでくるの？

A1 弾道ミサイルの種類や発射方法、発射場所などによりその時間は異なりますが、極めて短時間で日本に到達することが予想されます。

平成28年2月7日に北朝鮮から発射された弾道ミサイルは、約10分後に、発射場所から約1600km離れた沖縄県先島諸島上空を通過しています。

Q2 なぜ頑丈な建物や地下街などへ避難するの？

A2 ミサイル着弾時の爆風や破片などによる被害を避けるために有効だからです。

Q3 自宅（木造住宅）にいる場合はどうしたらよい？

A3 すぐに避難できると

ところに頑丈な建物や地下街などがあれば直ちにそこに避難してください。

それができない場合は、可能な限り窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。

Q4 自動車の車内にいる場合はどうすればよい？

A4 燃料のガソリンなどに引火するおそれがあります。車を止めて避難してください。

周囲に避難できる場所がない場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守ってください。

Q5 車から出ると危険な場合はどうすればよい？

A5 高速道路を通行している時など、車から出ると危険な場合には、安全な場所に止め、車内で姿勢を低くして、行政から

の指示があるまで待機してください。

Q6 ミサイルが着弾した後はどうすればよい？

【屋外にいる場合】
口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難してください。

【屋内にいる場合】

換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉してください。
弾道ミサイルの種類に応じて被害や対応が大きく異なります。テレビ、ラジオ、インターネットなどを通じて情報収集に努めてください。

また、行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動してください。